



# 開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.69

令和2年3月23日

文責：校長 伊藤 孝行

## 卒業証書授与式が終わりました。

先程、98名の卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、令和元年度卒業証書授与式を終えました。



3月3日からの臨時休業により、約3週間ぶりに顔を見た子どもたちは、一回り大きくなったように感じました。



臨時休業中、多くの制限のある中での式でしたが、卒業生の子どもたちは、緊張の中にも落ち着きを見せ、全員立派に証書を受け取ることができました。



今回の卒業証書授与式で、子どもたちに伝えたいことを式辞として話しました。

その概要を紙上をお借りして紹介させていただきます。

### ① 一瞬にして失われた日常生活

3月2日、「明日から学校がお休みになる」その一言で、当たり前の学校生活が一瞬にして失われて、悲しみ、不安などのたくさんの気持ちをもったことと思います。

### ② 歴史的な出来事の中にいる

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、歴史的な大きな出来事で、将来必ず教科書に載るようなものです。その歴史の中を、今、正に生きているのです。

### ③ 過去を振り返っても何も生まれない

やりたかったこと、できなかったことはあると思いますが、できなかったと思った卒業式ができたこと、短い時間でも友達と会えたこと、「できたこと」に喜びを見出す思考ができると豊かに生きられます。

### ④ 心に刻んであることを思い出して

6年生として頑張ったこと、下級生の見本となったことは、まぎれもない事実なので、自身をもって中学校に進んでほしいと思います。

### ⑤ 開物成務の精神で

自然災害や未知の感染症は、ますます増えていくことと思いますが、様々な困難に向き合い、周囲と力を合わせ解決に向けて頑張ることは、「開物成務」の精神です。

### ⑥ 区切りをつけて中学校へ

卒業生の皆さんを支えてくれた家族に、**「自分の言葉」**で、**「自分の気持ち」**をきちんと伝え、小学校生活の区切りをつけ、明日からは、未来に向けて歩いてほしいと思います。皆さんの前にあるのは未来です。

#### 【保護者の皆様への御礼】

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございました。

緊急時の中での卒業証書授与式で、いろいろと制約がありましたが、皆様にご協力いただきスムーズに挙行することができました。心より感謝申し上げます。